

Etiquete Sensor MIRROR ONE 簡易ガイド

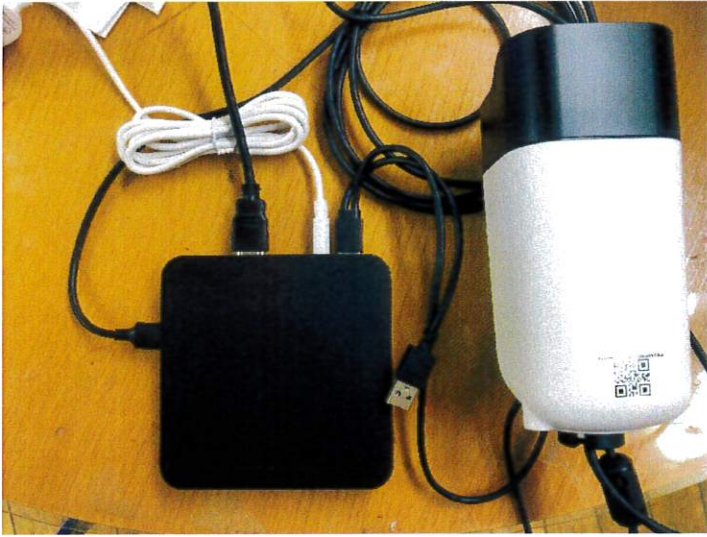
サーモカメラシリーズ

■ 起動について

電源ケーブルを接続すると自動でアプリケーションが起動します。

電源のON・OFFはリモコンのスイッチで行います。

警告温度は37.5℃で設定してあります。



<ケーブルの接続の仕方>

- カメラからの USB ケーブル 2 本を本体に接続します。

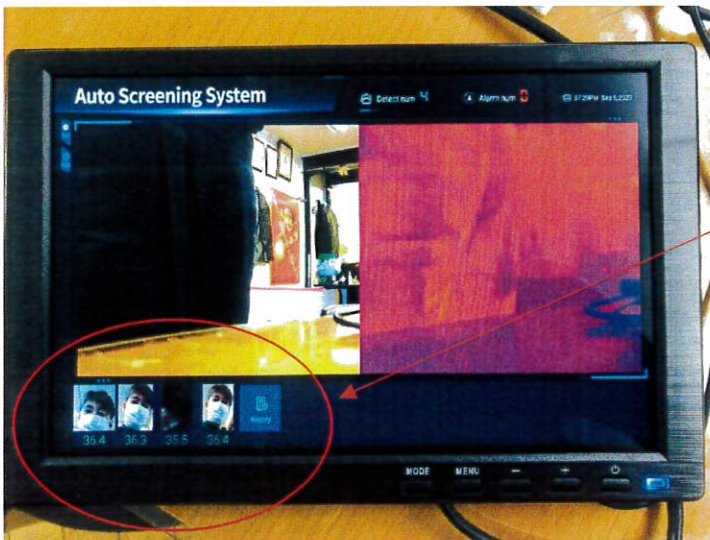
USB のポートはどちらでも構いません。



カメラから出ている USB ケーブルの 1 本が 2 連になっています。元の方を接続してください。

こちらは使用しない

- 電源ケーブルを接続します。
- HDMI ケーブルをモニターに接続します。



画面が立ち上がり計測を始めます。

測定された方の写真と体温が画面下部に順に表示されます。

カメラ画像とサーモ画像両方が立ち上がっていないと計測ができません。

電源を入れてからサーモカメラが立ち上がるまで少し時間がかかります。

立ち上がる途中に計測されると誤った温度が表示される場合があります。

■よく使用されると思われる項目について

<計測したリストの履歴表示>



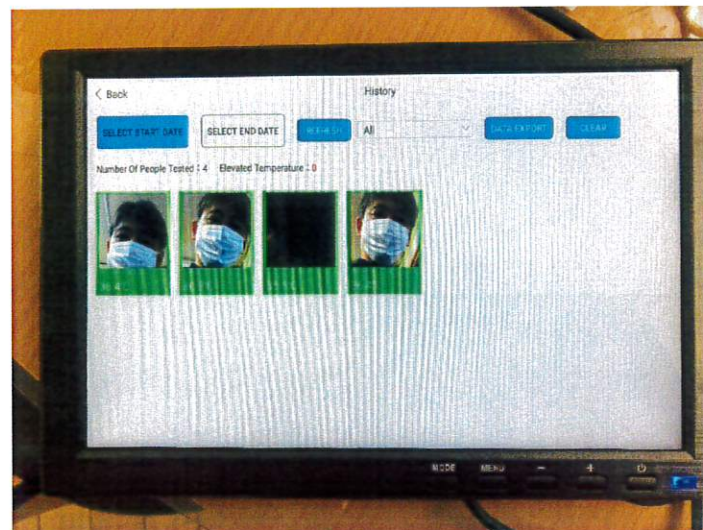
リモコンのカーソルボタンを押す。

画面に「enter the mouse mode」と表示され
上下左右のボタンでカーソルを移動できるようになります。

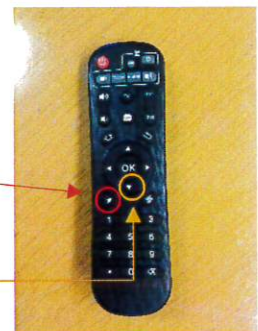
※リモコンは画面ではなく、本体に向けて操作してください。



画面下部の「history」をクリック



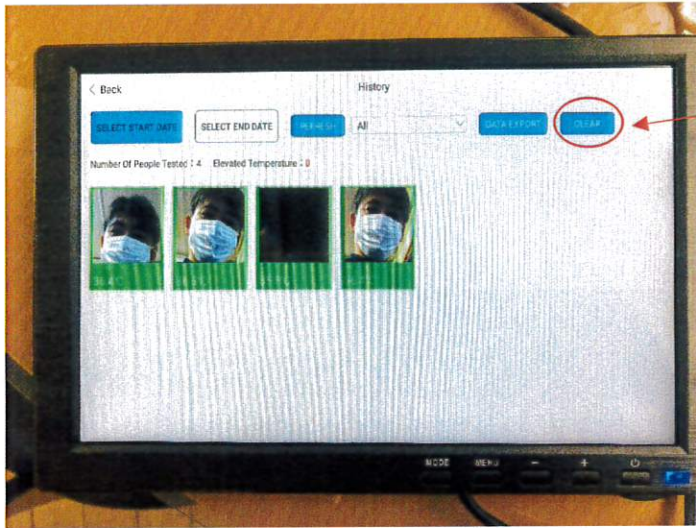
これまでの履歴が表示されます。
スクロールする際は
リモコンのカーソルボタンを押し
マウスモードを解除してから
方向ボタンの「下」を押しスクロールします。



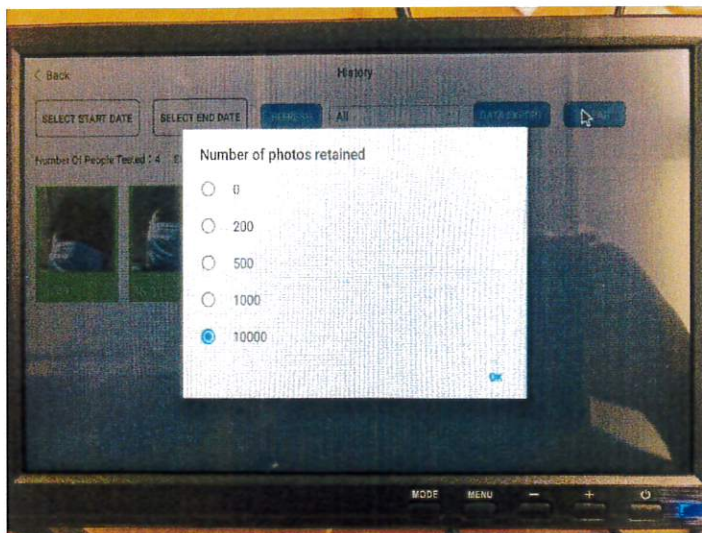
カーソルボタン

方向ボタン

<履歴を消去する方法>



履歴表示画面の上部 一番右「CLEAR」ボタンを押す。



残す履歴数を選び OK を押す。
履歴が消去されます。

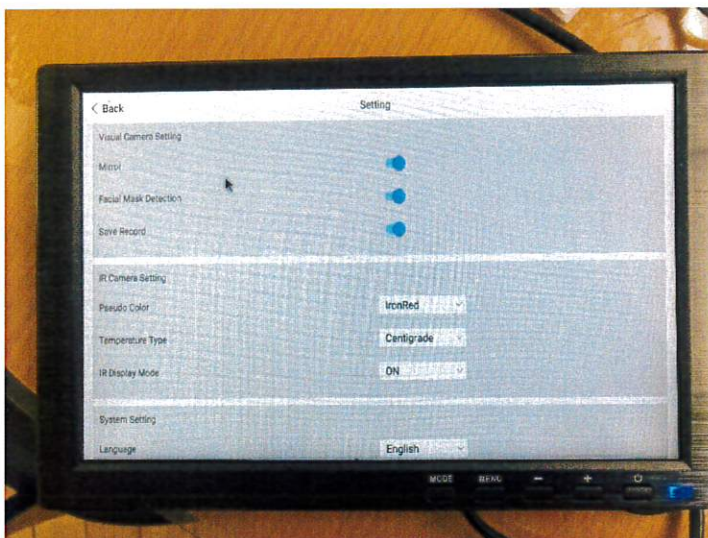


リモコンボタンの戻るボタンで検温アプリが立ち上がります。

< 警告温度の設定等 >



画面左上 設定タグをクリック



各種設定

Mirror カメラ画像反転

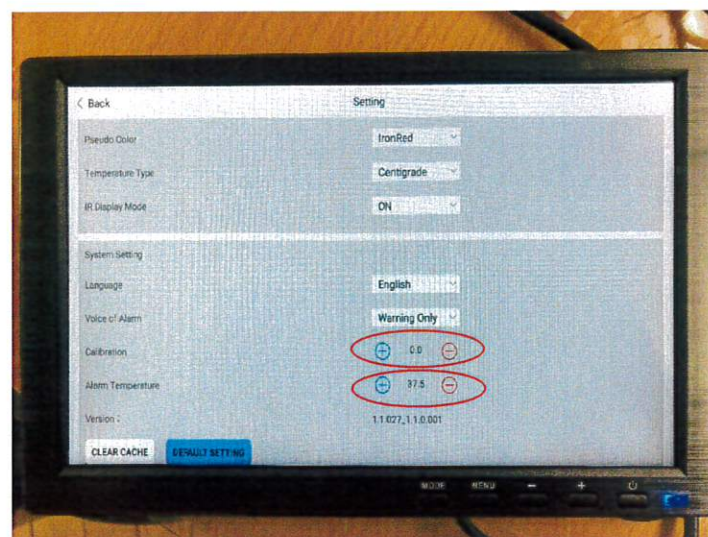
Facial Mask Detection

マスクをしていない方を検知

画面上に表示されるだけで記録はされません。

Save Record

測定結果の履歴を残す、残さないの選択が出来ます。



マウスカーソルモードを解除してスクロール

警告温度の設定ができます。

設置環境により誤差が大きい場合は

Calibration によって補正できます。

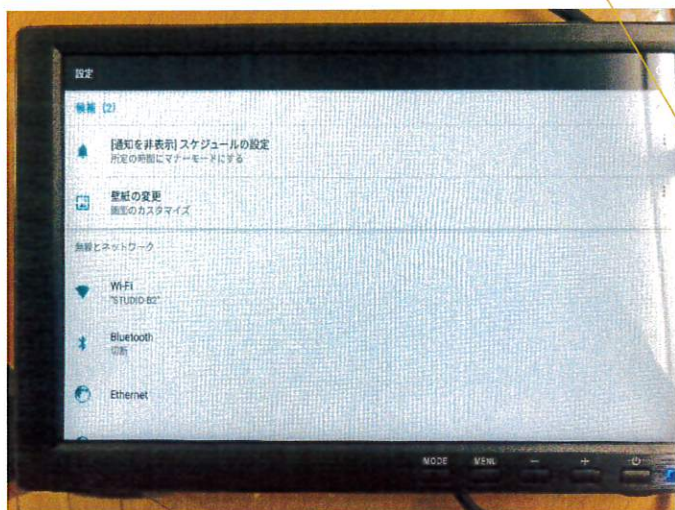
<Wi-Fi 等のシステム設定>



リモコンのホームボタンを押す。



デスクトップ画面が表示されます。
設定アイコンを選択



Wi-Fi 接続設定等システムに関する設定が
出来ます。

アプリに戻る際は「FS256pro」をクリック

■製品利用における注意事項

※本品は医療用体温計ではありませんので、測定温度は参考値となります。正しい体温測定には医療用体温計をご使用下さい。

- 顔認証により頭部の温度を瞬時に計測しますが直射日光等により帽子等が温められアラームが鳴る場合があります。
- 直射日光の当たる場所での使用はできません。
- 被写体は、額や顔面に向けられた強い光源がなく、その他の高熱・低熱源がないこと。
- 屋外や測定環境との温度差が大きい場所から検温器を移動した場合は、機器が安定するまで時間がかかる場合があります。
- 温度測定装置を空気の吹き出し口（エアコン、暖房等）に置かないでください。温風や冷風が装置の温度測定精度に影響を与えます。